

旭川大学クリスマス企画学生有志の会 シグマ・ソサエティ (SIルンベル旭川)

旭川大学クリスマス企画学生有志の会は「クリスマスの時期、1人暮らしの高齢者と一緒に楽しい時間を過ごす」ことを目的とし、活動しています。毎年、クリスマスの時期になると、学生たちは、サンタの格好をして、高齢者施設や1人暮らしの方の家をまわります。クリスマスケーキやカードをプレゼントし、一緒にクリスマスをお祝いします。2009年から実施しているこの活動も、今年で8回目となります。毎年多くの方々が学生たちの訪問を楽しみにしています。今年も私たち会員も学生たちと一緒に施設訪問をさせて頂きましたが、高齢者の方々が、楽しそうに終始笑顔でいたのが印象的でした。今後は、クリスマスだけではなく、様々な地域活動に積極的に参加していきたいと語っていました。(SIルンベル旭川 スポンサーシップ委員長 平井麻貴)



入会式



施設訪問



クリスマス音楽祭

旭川大学高等学校吹奏楽部 “S”クラブ (SIルンベル旭川)

旭川大学高等学校吹奏楽部は今年新たに11名の1年生が加わり、28名で活動しています。部活のモットーは「PPM」(P=Positive(前向きに)P=pure(純粋に), M=membership(仲間を大切に))です。部員たちはこれらのモットーを大切に、日々の活動に力を入れています。吹奏楽コンクール東日本大会(全国大会)に7度出場し、今年は5度目の「金賞」を受賞しました。定期演奏会はもちろんのこと、夏祭りのイベントやクリスマス音楽祭など、地域みなさんに「音楽を届けたい」という想いで活動しています。10月に行われたSIルンベル旭川主催のチャリティーコンサートでは、誘導や案内などお手伝いをして頂きました。また、「夢を拓く茶話会」では熱心に講師の話聞く姿が印象的で、それぞれの将来を考えるよいきっかけになったと話してくれました。私たち会員も彼らの音楽からたくさんの力を頂いています！(SIルンベル旭川 スポンサーシップ委員長 平井麻貴)

入会式



「夢を拓く」茶話会



2017年1月24日(火) 昨年に続き、登別青嶺高等学校において「茶話会」を開催。
参加者は生徒6名、先生1名、会員5名

「夢」をテーマにし、生徒一人一人に将来どんな職業に就きたいのか? 「夢」は何か? を具体的に発表していただき、その「夢」を実現させるためには、何が必要で、どのような方法があるのか、いま現実に直面している問題や障害はあるのか、あるとしたらその解決策は何? など、積極的に意見を交わした貴重な時間でした。その中で、生徒自身がしっかりと自分の考えを持ち、将来について真剣に考えていることを知り、とても頼もしく思いました。

(S I 登別 スポンサーシップ委員長 藤 久美子)

「夢」テーマに茶話会

青嶺高女子生徒らと懇談

ソロプチミスト

国際ソロプチミスト登別
(幸坂ノリ子会長)のメン



バーが24日、青葉町の北海道登別青嶺高校(佐藤振一郎校長、454人)で「夢」をテーマにした茶話会を開催、女子生徒たちと懇談した。

この日はメンバー5人、生徒6人が参加。うち、小林香凜さん(1年)は「赤ちゃんが大好きなので助産師になりたい。助産師不足もあり、地域貢献にもつながれば」との目標を披露していた。

就職や進学に関する悩みも多く、メンバーたちは自身の経験から助言していた。幸坂会長は「少しでも生徒たちの力になれば」と話していた。(鞆子理人)

